

安全データシート (SDS)

製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会
住 所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181
第5キョートビル7階
担当部署 粉体工業技術センター 製造事業部門
電話番号 075-354-3583 FAX 番号 075-352-8530
E-mail: testpowders@appie.or.jp
連絡先 同上

作成日 2015年 6月 23日
改訂日 2025年 8月 28日

製品名 (化学物質名)
JIS 試験用粉体 1 の 16 及び 17 種 (炭酸カルシウム)
SAP 試験用粉体 3 の 4 種 (炭酸カルシウム)

危険有害性の要約 [GHS分類]

物理化学的危険性	分類結果
火薬類	該当しない
可燃性ガス	該当しない
エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高圧ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	該当しない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	該当しない
自己発熱性化学品	該当しない
水反応可燃性化学品	該当しない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性 (経口)	区分 5
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2 (CaO)
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1 (CaO)、区分 2 (MgO)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2 (SiO ₂)
発がん性	区分 1A (SiO ₂)

生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分1（CaO）、区分3（MgO）（呼吸器、免疫系、腎臓） 第1群（日本産業衛生学会） （CaO）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器、免疫系、腎臓） 第1群（日本産業衛生学会） （CaO）
誤えん有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



危険有害性の要約（一般事項）

- 危険性：床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。不燃物で火災・爆発性はない。
粒子が目に入ると粘膜に刺激を覚えることがある。
- 有害性：粉じんを長時間吸い続けると呼吸器系疾患の原因となる恐れがある。
粉体が皮膚に付くとまれにかぶれる事がある。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品
化学名又は一般名：炭酸カルシウム（重質炭酸カルシウム、化学式 CaCO_3 ）
（本品は天然の石灰石を粉砕、分級したものである）
化学成分：酸化カルシウム（CaO） 54～56%
酸化マグネシウム（MgO） 0～3%
二酸化ケイ素（ SiO_2 ） 0～4%
酸化アルミニウム（ Al_2O_3 ） 0～3%
CAS No.：471-34-1

応急措置

- 目に入った場合：清浄水で洗眼する、痛みがある場合は医師の手当を受ける。
- 皮膚についた場合：特に問題ないが、まれにかぶれることがあるので、払い落として水道水で良く洗う。
- 経口摂取した場合：衛生上問題はないが、体内で消化吸収されないので大量に摂取・吸引した場合は医師の診断を受ける。少量（数グラム程度）の摂取場合は体外に自然排出される。

火災時の措置

- 消火方法：燃えず、反応もしない。特別な処置は不要である。
- 消火剤：各種消火剤を使用しても問題なし。

漏出時の措置

床などにこぼれた場合は舞い上がることもあるので、速やかにモップなどで清掃する。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：飛散させないように、静かに取り扱う。
吸い込む、目に入る恐れがある時には保護マスク、保護眼鏡を着用する。
- 保管：容器を密封し、常温常湿の屋内に保管する。

暴露防止及び保護措置

- 管理濃度：0.06 mg/m³
- 許容濃度：0.03 mg/m³

設備対策 : 発じん場所は局所排気を設け、周りにこぼれないよう囲いをする。
局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。
保護具 : 【呼吸用保護具】 : 状況に応じ防じんマスクを着用する。
【保護眼鏡】 : 状況に応じ防じん保護眼鏡を着用する。
【保護手袋】 : 保護手袋を着用した方がよい。
【保護衣】 : 特に必要ない。

物理／化学的性質

外観等 : 白色の粉体、無臭 粒子密度 : 2.9～3.1 g/cm³
融点 : 約850℃
溶解度 : 水に対する溶解度 0.0015% 有機溶剤、アルカリに不溶

安定性及び反応性

安定性・反応性 : 熱・光・衝撃に安定、引火性及び爆発性はなし。
酸類と反応して二酸化炭素を発生する。

有害性情報

急性毒性 : 飲み込むと有害のおそれ。(CaO) 分類できない。
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。(CaO)
発がん性 : 発がん性のおそれ。(SiO₂)
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 臓器の障害(CaO)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害
(呼吸器系、免疫系、腎臓)(SiO₂・CaO)

環境影響情報

移動性 : 微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。
蓄積性 : なし
環境影響 : 粉じんを外部へ排出すると、粉じんによる環境汚染の恐れがある。
その他 : なし

廃棄上の注意 一般産業廃棄物として処理できるが、地方自治体の基準に従うこと。

輸送上の注意

運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。
国連番号 : なし

摘要法令

労働安全衛生法 : 労働安全衛生法施行令別表第9(名称等を表示・通知すべき危険有害物。
令和7年4月1日から労働安全衛生規則別表第2) 結晶質シリカ、
酸化カルシウム、(令和8年4月1日から、左記に加え、酸化マグネシウム)
労働安全衛生規則第577条の2(がん原生物質) 結晶質シリカ
労働安全衛生規則第594条の2(皮膚等障害化学物質等) 酸化カルシウム
粉じん障害防止規則第2条第3号、別表第1(粉じん作業)
じん肺法 : 第2条第3号、別表(粉じん作業)
P R T R法 : 第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有 なし
毒劇物取締法 : 該当物質の含有 なし
内分泌攪乱物質 : 対象物質の含有 なし

その他

参考文献
・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質一覧
(令和7年(2025年)4月1日施行分)(令和8年(2026年)4月1日追加分)
・J I S Z 7 2 5 2 GHSに基づく化学品の分類方法(2019)

- ・ J I S Z 7 2 5 3 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（2019）
 - ・ 日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2024 年度 日本産業衛生学会）
-

〔記載事項の取り扱い〕

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。

また、このSDSは、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。ここに記載してある注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

以上（全4頁）